

サービス・システム名称	パソコンプレックス解消大作戦
関連資料(プリント用PDF)	
分類	コミュニティ / 人材育成
実施団体	特定非営利活動法人 TRYWARP
サービス・システムの概要	大学生がパソコンを教えることを通して地域住民との世代間交流の機会を作り、地域SNSを運営することで、商店街や大学生、そして地域住民の交流を促進し、西千葉という地域への愛着作りを行う。
地域情報化の視点	地域コミュニティ形成 / 地域人材活用
サービス・システムの狙い (利用想定層、開発・提供のきっかけ)	情報技術の急速な普及により我々の日常生活は便利になったが、新しい技術に根拠のない不安を持つ人は多い。また、大学生と周辺地域の住民との交流はほとんど無く、お互いにあまり関与しないのが現状であった。そこで、大学生が地域の人々にパソコンを教えることで世代間交流を生み出し、パソコンに対する不安を地元大学生が解決してくれるという安心感とともに地域の活性化を図る。
サービス開始時期と開発時期	サービス開始時期:2004年1月/開発時期:2003年6月
発表年	2008年
過去の表彰歴および表彰に関する報道等	株式会社モスフードサービス「モス夢チャレンジわくわくタウン大作戦2003」、2004年4月2日地域新聞千葉北版、同年4月千葉市地域文化振興財団発行あではNPO法人ETICおよび日本電気株式会社「NEC社会起業塾第6期」マイクロソフト株式会社「第6回マイクロソフトNPO支援プログラム」株式会社日本経済新聞社「日経地域情報化大賞2008 インターネット協会賞」、2008年9月29日日経新聞朝刊、同年11月8日日経新聞朝刊、同年12月5日日経新聞朝刊
サービス・システムの特徴・特記事項	パソコン教室という関係から自然に生まれた世代間交流であり、地域活動に興味の無かった大学生や地域住民を巻き込むことが出来る。また、SNSは出会い系ならぬ「出会った系」のコミュニケーションサイトとして、現実社会の活動を補強するためのツールであることを強調している。
導入に当たって克服した課題 (苦労をした点・工夫)	パソコンを詳しい大学生よりも苦手と感じている大学生をスタッフとすることで、受講生のパソコンへの苦手意識に共感でき、パソコンを教えるだけでなく交流が生まれるよう促している。SNSでは公式オープン前にプレオープン期間を設け、その期間は大学生の参加の禁止することで年配の方が使いやすいコミュニティを形成した。